

平成27年度交付  
市民企画事業補助金  
成果報告書



八王子市

平成28年7月



百年の彩りを  
次の100年の  
輝きへ

# 目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告	
(1)	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 2015 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	5
(2)	八王子ものづくりコンテスト(通称:はちもん)	7
(3)	《さんさん》から健康と笑顔を発信	9
(4)	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	11
(5)	MOA美術館八王子児童作品展	13
(6)	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	15
(7)	みなみ野サマーブリーズコンサート	17
(8)	～いつもの教室がステージに～ アウトリーチコンサート	19
(9)	地域から考える持続可能な食と農 作って、食べて、語り合うコミュニティ・キッチン in 八王子	21
(10)	お外へぼん！未就学児親子の遊びと体験	23
(11)	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	25
(12)	2015 春やすみ夏やすみ ふくはち交流合宿	27
(13)	(講座)「里山エネルギー研究会」と木質ペレットの製造	29
(14)	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	31
(15)	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会および市内施設でのセミナー開催	33
5	成果報告会アンケート結果	35
6	交付団体連絡先一覧	39

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

# 1 市民企画事業補助金の概要

## (1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

## (2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する公益的な事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

## (3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員により構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（B 事業実施部門のみ）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当課による確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
評価会議による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は平成27年度交付対象事業についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。市民企画事業補助金のホームページアドレス：  
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

## 2 事業成果報告等の経過

### (1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成27年3月22日(日) 13:00~17:00
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 参加団体 13団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



### (2) 成果報告会

- 日 時 平成28年6月25日(土) 13:30~17:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 15団体
- 平成27年度に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



### 3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展2015 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	175,156	100,000
	新	八王子ものづくりコンテスト (通称: はちもん)	142,598	100,000
	新	《さんさん》から健康と笑顔を発信	262,860	100,000
	②	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	170,013	100,000
	②	MOA美術館八王子児童作品展	254,796	100,000
	②	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	100,507	100,000
小計			1,105,930	600,000

事業実施部門	新	みなみ野サマーブリーズコンサート	1,156,041	578,000
	新	～いつもの教室がステージに～ アウトリーチコンサート	593,307	270,000
	新	地域から考える持続可能な食と農 作って、食べて、語り合うコミュニティ・キッチンin八王子	600,479	300,000
	新	お外へぼん！未就学児親子の遊びと体験	726,730	341,000
	新	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	1,387,041	629,000
	新	2015 春やすみ夏やすみ ふくはち交流合宿	1,542,938	700,000
	新	(講座)「里山エネルギー研究会」と木質ペレットの製造	2,015,100	970,000
	②	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	981,874	317,000
	②	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会および市内施設でのセミナー開催	766,425	208,000
	小計			9,769,935
総計			10,875,865	4,913,000

## 4 事業成果報告

平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 2015 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～		
団体名	八王子ハッピー太陽ロード実行委員会		
事業費	175,156円	補助金額	100,000円

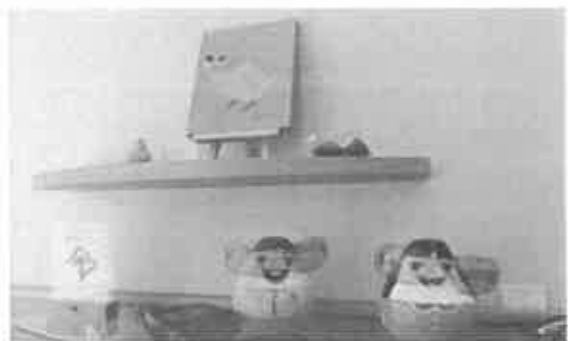
事業の目的・内容	<p><b>目的 わかりやすいアート事業を！</b>                  一般にアート事業といっても、暗い作品だったり、専門家でないと、意味のわからない作品展が繰り返られる近年のアート事業部門。                  老若男女問わず、シンプルで明るく、元気な気分になる、八王子在住のハッピー太陽画家小楠アキコさんの作品を街に展示、見ていただくことにより、1人でも多くの市民が、明るく楽しい気分になり、日々生活していけるようにアートを通して貢献したい。また、アートをめぐって八王子の街を歩くことにより、日ごろ知らない八王子の商店街のお店と触れ合うことにより、新しい発見や、商店街の活性化につながることを目的としている。</p>
	<p><b>内容 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐ、ハッピー太陽プロジェクト～</b>                  八王子の商店街と八王子の街と八王子を元気でハッピーにしよう！                  八王子の店舗の方々との厚い信頼関係と協力の基に、ルーブル美術館作品展示、サロンブラン日仏現代美術展奨励賞受賞、NY、スイス、マイアミ、ドイツ他各国で活躍する八王子在住の画家、小楠アキコさんの協力により、2013年6月よりスタートした企画。                  作品展の作品は、太陽の街八王子にふさわしい、ハッピー太陽の絵を描く画家、小楠アキコさんの作品を各店舗ごとにテーマを決めて展示。(メガネ屋の場合メガネとハッピー太陽と人々の作品や、布団屋の場合は、布団とふわふわひつじの作品展など)ハッピー太陽アートプロジェクトは、今年で三回目を迎えます。2015年は、春に八王子市内17店舗、秋に西八王子10店舗での作品展他、個別商店とのコラボ作品展を開催。</p>

事業の活動実績	<p>●4月18日(土)-6月7日(日) 春の企画「八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 2015」開催                  参加店舗:八王子の17店舗(額のイワイ、タカラメガネ、丸吉優眠館、BOUQUE、美容室 姿、うめ八、                  コワーキングスペース 8beat、ライブハウスpapabeat、花屋Floraison、整体院チアーズ、ヘアーサロンcamino、                  ラーメン百馬、ななくに歯科、文具の大洋、匂香そめい、山本鮮魚店、武蔵野うどんたまや)                  ★4/18-19 オープニングキャンペーン 於:はちチャレ(八王子北口ドンキホーテ向い 1坪スペース)にて                  ★5/14-19 八王子ハッピー太陽ロード特別企画「ひまわりの作品展」 於:ギャラリーロッカーニ(八日町)                  ●9月4日(土)-10月4日(日) 秋の企画「西八王子ハッピー太陽アート作品展 2015」開催                  参加店舗:西八王子の10店舗(ヘアーサロンALVERO、米蔵人 城定商店、古物garakuta Arte、定食のやなわらばあ、                  文具の大洋、Member's Bar D、おこめパン&amp;カフェ Magome、陶芸教室アトリエ陶房花人、                  ビストロ Gare de M、ナチュラル整体院OKANSHA 西八王子店)                  ★9/4 オープニングキャンペーン 於:ALVERO店舗前(西八王子北口美容室) スタンプラリーチラシ配布。                  ★12/13-14 8beatにて西八王子ハッピー太陽アート作品展で展示した作品を一堂に集め、展示。                  ●12月25日-1月31日 八王子商店街の店舗とのコラボ作品展「サルと座布団」展開催 於:丸吉優眠館(八幡町) ●1月21日-26日 ハッピー太陽作品展 於:ギャラリーロッカーニ(八日町)                  ●企画展示として作品展を各店舗にて開催「ハッピー太陽作品展」                  ★1/4-26 味楽苑(長房団地入口) ★2/8-3/7 カフェこすもす(片倉駅北口) ★3/1-31 こりとりはうす(横山町)</p>
---------	--

額縁屋での展示風景



眼鏡店での眼鏡と作品のコラボレーション展示



事業の成果・効果	<p>「八王子の街をより楽しく、活性化できるお手伝いをしていこう！」をコンセプトに、八王子に住んでいながら、市内のことを知らない市民に対して、アートをきっかけにお店をまわり、スタンプラリーをすることにより、八王子の町やお店を知っていただくことより、地域の商売繁盛や、にぎわいに繋げていく成果をあげた。</p> <p>【成果①】八王子市民企画事業に認定されたことにより、八王子市役所関連の施設 64 箇所以上に、ポスター、チラシの掲示ができた。</p> <p>また、新聞、雑誌各誌への掲載露出が増え、イベントへの認知度が上がり、集客へつながった。以前からのファンがFacebookやTwitterでイベント情報を拡散してくれるようになり、さらなる動員へつながった。</p> <p>【成果②】イオンモールなどの巨大モールの進出が計画されて、八王子市内のお店離れがある中、八王子市内の街をアートを見ながら散策し、八王子の街の商店街のことを知っていただけた。アート展示を通して、商店街の方と、街の人々が交流し、八王子の街に親しみが生まれた。一度訪れたお店は、なじみができるらしく、その時用事がなくても、後日再び来店し、その店舗のお客様になる確率が高くなりました。</p> <p>〈例1〉 歩いていたらメガネが壊れ、スタンプラリーで行った眼鏡屋さんを思い出し、修理に出した。          〈例2〉 花をプレゼントしようと、以前スタンプラリーで訪れた花屋のセンスがよかったことを思い出し、注文した。          〈例3〉 ラーメンを食べたいが一人では入りづらいが、スタンプラリーで訪れたラーメン屋の店員が気さくだったことを思い出し、勇気を出してラーメンを食べにいった。Etc</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)                  申請どおり+リクエストがあった新規店舗とのコラボ展覧会など、市内の商店と連携して、ハッピー太陽アート作品展を開催した。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)                  八王子市の施設にポスター、チラシを掲示できたことが、今回の動員増加につながり、効果につながった。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)                  店舗との打ち合わせ、搬入搬出、打ち合わせ、確認作業での移動交通費が当初の予定以上にかさみ、また、会場費の値上がりにより、各予算の内訳内で調整した。調整内容として、チラシデザインを会員の手作りのデザインで作成、5万円、経費の削減につとめた。トータルでは、交通費の加算が原因で、当初予定していなかった団体運営費からの繰入金が約 2 万円になった。期待していた、各店頭でのポストカードや、アート作品の売上げはなく、この課題は今後、売り場との連携が必要のため、来年への課題とする。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>例年の手作りのイベントより、参加店舗の会員の士気も上がり、各店舗の宣伝効果により、スタンプラリーへの参加者が増えた。                  お互いの店舗同志が、スタンプラリーのイベントを紹介しあい、各店舗の従来のお客様が、他の店舗をまわるようになった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子の街をアート作品を見ながらもっと散策していただけるよう、2016 年も、八王子の商店と連動して、アート展示とスタンプラリーを開催する。</p> <p>春 八王子ハッピー太陽ロード作品展開催 市内 15 店舗                  秋 西八王子ハッピー太陽アート作品展開催 市内 10 店舗                  春、秋ともイベントの中間日程でワークショップ、ギャラリーでのハッピー太陽アート作品展(作品展と、スタンプラリーのチラシ配布で参加促進する)などのイベントを開催し、さらなる、スタンプラリー参加動員を募る。その他、個別に各店舗とのコラボ企画 干支トりの作品展他各所にてハッピー太陽アート作品展を開催。</p>
---------	--



平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ものづくりコンテスト (通称: はちもん)		
団体名	はちもん実行委員会		
事業費	142,598円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 元々、八王子は養蚕・機織りが盛んで絹織物をはじめ手を使ってものを作る「ものづくりのマチ」であったが、新規転入人口も増加していく中で近年ではあまり知られていないと感じていた。学園都市でもある八王子で、世代を超えてものづくりのコンテストを継続して行うことで、「ものづくりのマチ八王子」を内外にアピールし、市民のものづくりを盛り上げていきたい。
	内容 八王子市内及び近隣の人を対象にジャンルを問わず、世代を超えてものづくりを楽しんでもらうことを目的のコンテストを開催。応募作品のうち一次審査通過作品はセレオ八王子北館駅ビル10Fに展示し、市民の投票により入賞作品を決定した。受賞作品の材料調達店舗にはポスターを掲示し、次のコンテストにつながるよう工夫した。

事業の活動実績	<p>&lt;広報・協賛活動&gt;</p> <p>2015年5月: 「はちもん」ホームページ開設</p> <p>2015年6月 「はちもん」 facebook ページ開設</p> <p>2015年6月: 「広報はちおうじ」6月15日号に作品募集記事掲載</p> <p>2015年7月: 「ショッパー」7月31日号に作品募集記事掲載</p> <p>2015年7月: ネットニュース八王子経済新聞、Yahoo!ニュースに掲載</p> <p>&lt;コンテスト&gt;</p> <p>2015年8月1日~8月31日: 【作品募集期間】</p> <p>2015年9月: 【一次審査】</p> <p>2015年10月24日~11月1日: セレオ八王子10Fにて31作品を展示</p> <p style="text-align: right;">【最終審査・一般投票】</p> <p>2015年11月1日: セレオ八王子10Fにて【表彰式】優秀賞・セレオ賞・クロバー賞・たき坊賞・各部門賞(アート部門・ライフ部門)授与</p> <p>2016年1月~3月: 入賞作品の紹介ポスターを材料購入店舗などに掲示</p>
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代を超えた市民のものづくりを盛り上げた 一次応募 79 作品の応募者は 21 歳から 85 歳と幅広く、世代を超えたコンテストになった。また、応募者は全員八王子市民からによるものだった。 また、投票者の年齢も 20 代から 70 代以上と広い世代に渡って好評だった。</li> <li>・「ものづくりのマチ・八王子」を内外にアピール 最終審査 9 日間の総投票数は 1,562 票であった。 一次審査を通過した作品をセレオ北館 10F レストランフロアに展示したお陰で、普段 JR 八王子駅を利用しているだけの遠方の方々にも興味を持って投票してもらえた。会場の立地の良さも投票数を伸ばすポイントであった。</li> <li>・投票者の住居は八王子市内 58%、多摩エリア 9%、その他 7%、未回答 26%であった。 アンケートでは、投票前に「はちもん」のことを知っていたという方は 22%、知らなかったという多くの方々に知ってもらえた。</li> <li>・投票者のうちこのコンテストに参加したいという方が 23%おり、次回の応募数増加につながると期待できる。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    ③ 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 審査会場が無償で借りられることになったため借上げ料等が不要となり、本事業を広く周知するためにホームページを作成することにした。最終審査で学生ボランティアへの謝礼や賞状用紙などの消耗品も必要になったため。
	その他、評価すべき点等	投票数が 1,500 票を超え、感想も「八王子にすごいものを作る人がこんなにいるのですね」「来年は応募したいです」という声をたくさんいただいた。中高年の方の趣味の作品が入賞・受賞したことで、作ること＝生き甲斐にもなったと思う。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、もっと八王子のものづくりの歴史を知ってもらえるように、八王子織物組合の協力を得て伝統の織物に触れる機会などを作りたい。チラシやポスターなどのデザインも毎年リニューアルする予定であり、今回は日本工学院八王子専門学校の学生に協力していただくことになった。若い世代への周知活動を広く行っていくことで、協賛企業にとっても人材確保に役に立つようなイベントにしたい。また、今回の第一回開催の実績をもって協賛金を更に多く募り、市制 100 周年にあたる第 3 回に向けてオリジナルグッズの制作販売なども企画していく。</p>
---------	--

## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	《さんさん》から健康と笑顔を発信		
団体名	特定非営利活動法人 南陽台地域福祉センター		
事業費	262,860 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 東京都において最も高齢者率の高い八王子市南陽台は、坂道が多く、また地元の商店が閉店するなど高齢者が生活するには不便な地域である。 自助・共助・公助の拠点になるような提案を継続的に行っていく。また、当事業所は地域での認知度が低く、これらの活動を通じて広く知っていただくこと、身近に感じてもらうことを目的として企画。
	内容 住み慣れた家や地域で自分らしい生活が続けられるよう、様々な活動への参加や社会とのつながりが持てるような企画を提供する。 ① プラチニア体操（椅子に座ったままでの筋力体操）の促進と教室の開催 ② ノルディックウォーキング教室の開催

事業の活動実績	<p>① プラチニア体操教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全12回 各2.5時間 南陽台自治会館において実施 (7/13, 7/27, 8/10, 8/24, 9/7, 9/28, 10/5, 10/19, 11/2, 11/16, 11/30, 12/14)</li> <li>・八王子市南大沢保健福祉センターより講師を派遣していただき、講話(2回)と体力測定(2回)を行っていただき、他の回についてはインストラクター2~3名による実技。</li> <li>・同時に南陽台地域福祉センターのケアマネージャーによる相談窓口の設置を行い、介護に関わる情報の提供を行った。</li> <li>・参加申込み29名(平均年齢77.3歳。最高年齢91歳)延べ人数は194名。</li> </ul> <p>② ノルディックウォーキング教室<sub>み</sub></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全5回 各2.0時間 南陽台海公園を中心に実施 (10/13, 10/27, 11/10, 11/24, 12/8)</li> <li>・ウォーキング指導員2名に来ていただき、ポールを使ったストレッチやウォーキングの基礎、ポールの種類、靴紐の結び方などを教わる。</li> <li>・最終回には薬科大学を経由し平山城址公園内までの1.5kmのウォーキングを行う。</li> <li>・参加申込み24名(平均年齢74.2歳。最高年齢90歳)延べ人数は81名。</li> <li>・南陽台以外には、打越町、北野台、遠くは狭間町からの参加があった。</li> </ul> <p>③ 審査の際に、「広く市民周知すること」、「関係機関との連携を進めること」との意見が付されましたので、市の広報紙への募集記事掲載やチラシを市民センターに配架するなど周知に努めるとともに、南陽台自治会や南大沢保健福祉センターとの連携を図りました。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>① プラチニア体操 椅子に座っての筋力トレーニングは、それぞれの身体状況に合わせて無理なく行われた。同じ地域にいながら初めて顔を合わせる方が多く、各回の終盤には、椅子の並びを替えて円陣になり、自己紹介を交えながら整理体操を行うなどの工夫を行った。 「一人ではできないけれど大勢だと続けられる」「家から出る機会が持てて良かった」と不安を解消することができ、「体操を終えての帰宅時には、登り坂でも身体が軽く歩ける」など、効果を実感していただけているようであった。 全12回を終えてからも継続の希望が多数あり、参加者の提案で今後は南陽台自治会が主体となって継続して行うことになり、平成28年2月5日から開始されることとなった。当事業所からは、資格のある職員がインストラクターとして関わり、当事業所の活動を広く知ってもらおう。</p> <p>② ノルディックウォーキング ポールを使ってのウォーキングは、普段よりも歩幅を大きく歩くことで、何も持たないよりウォーキングよりも長距離が無理なく歩けたり、ポールを使って大きく上半身を使うことで肩こりがとれてきた等の効果を実感していただけた。 ウォーキング前後には講師によるポールを使ってのストレッチが行われ、ゲームを取り入れながら笑いの絶えない教室になった。 講師の先生方も好評で、「楽しみや気分転換に役立った」と意見が多かった。 継続希望の声が多くあり、参加者の中から代表者を選んで会を発足し、自主的な活動を行ってほしいと意見がまとまり、最終回を終えた。 その後、来年度に向けて「南陽台ノルディックウォーキングクラブ」が創設され、当事業所と連携しながら活動を行うことが決定した。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>交渉によりウォーキングの講師料等の謝礼とポールのレンタル料について、計画より廉価となった。プラチニア体操の会場として自治会館の利用が可能になり会場使用料が発生した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>両活動の継続が、参加者の中から自発的におこり、会が立ち上がった。 地域のマンパワーを実感し、地域の自立した活動、地域が元気になるきっかけづくりができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今年度の企画については、それぞれ自立した会を形成することとなり来年度の活動を行う。それらと連携、協働していくこととする。 また、これらの活動を通じて地域のコミュニケーションの輪を広げ、地域のコミュニティの拠点となり地域が抱える問題や課題を共有し、さらに活性化する企画を展開していく。</p>
---------	--

平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」		
団体名	シュタイナー・おひさまひろば		
事業費	170,013 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的・当団体は自らの育児の経験の中でシュタイナー教育と出会い仲間と楽しみながら保育をしており、この経験とつながりを活かして八王子市内に親子で気軽に参加でき、安心して子育てできる環境を目指して本事業を企画し実践しています。</p> <p>・私達の活動を広く市民の皆様にご覧いただけるよう広報活動もしています。</p>
	<p>内容・妊婦さん・乳幼児親子対象のシュタイナー教育にもとづいた育児支援活動を行う。</p> <p>・シュタイナー教育、芸術、食事、医療等の専門家を招いたワークショップや勉強会を実費負担程度で提供する。自然素材のおもちゃやアレルギーに配慮した食材を使用し様々な状況の親子が参加しやすい場を提供する。</p> <p>・参加者のリクエストに応じた子連れ茶話会も実施する。</p>

事業の活動実績	<p>1.4/15(水)10時～11時半「シュタイナー子育てカフェ」浅川市民センター和室 親子3組 大人1名参加</p> <p>2.5/12(火)10時～11時半「オーガニックの野菜で作る簡単スイーツ」浅川市民センター調理室 親子5組参加.</p> <p>3.6/7(日)10時半～14時半「シュタイナー子ども園 おひさまの庭」オープンハウスに出店 おひさまの庭園舎(高尾) 自然素材を使用したワークショップ 親子23組参加</p> <p>4.7/8(水)10時半～11時半「親子で楽しむ夏のコンサート ライア-とうた」みなみ野市民センター 親子8組参加</p> <p>5.9/11(金)10時～11時半「おひさまカフェ」おひさまの庭園舎 親子8組 大人4名参加</p> <p>6.10/31(土)10時～16時「ファミリーフェス in はちおうじ」に出店 JR八王子駅南口とちの木デッキ 自然素材を使ったワークショップ 50名参加.</p> <p>7.11/24(火)10時～12時「看護師さんから学ぶオイルケア」浅川市民センター和室 親子8組参加</p> <p>8.1/19(火)10時～11時半「とっても簡単!子供と作るやさしいおやつ作り」浅川市民センター調理室 親子1組参加</p> <p>9.2/23(火)10時～12時「子どもと味わうやさしい料理教室」親子3組 大人2名参加</p> <p>10.3/17(木)10時15分～11時「親子でほっとひと息 ライア-コンサート」おもちゃカフェ datocchi 親子11組参加</p> <p>尚、1月の講座は大雪のためにほぼキャンセルとなり1組しか参加されなかった。</p> <p>*広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報及びHPの掲載、市民センターや子ども家庭支援センター等へのチラシ配布、掲示</li> <li>・パルシステム広報掲載、HPやFacebookの活用</li> </ul>
---------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を行った際は必ずアンケートをとったり、感想を聞くようにしました。</li> </ul> <p>参加者の声</p> <p>「こんなに簡単に子供と作れるおやつがあるなんて、目からうろこです。家に帰って子供と一緒に楽しんで作ります。」</p> <p>「ライアーというのがこのように美しい音色の楽器とは知らなかった。リラックスできて眠くなりました。子供もいつも騒いだりするのに、今日は落ち着いて聞いていてびっくりしています。」</p> <p>「オイルケアを実際に体験して今日帰ったらすぐ子供にやってあげたい。またこのような講座があれば参加したい。」など嬉しい感想ばかりでした。</p> <p>上記の声をふまえて事業の目的を達成できたと思えました。 <li>・今年度新たに行った活動の成果</li> <p>今年度は活動を幅広く知ってもらうため、よりニーズの高いみなみ野や八王子のおもちゃカフェ dattochi を会場に選り沢山の新しい方々にお越し頂きました。</p> <p>市民センターなど公共の施設だけでなく、子供連れが多く集まるカフェで活動でき、ライアーコンサートの雰囲気も良くなりシュタイナー教育を広く知って頂く機会となったことは貴重でした。ご協力頂いたおもちゃカフェ dattochi さんに感謝し、また今後も是非いろいろな場所でいろいろな活動を実施していきたいです。</p> </p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ほとんど同    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	みなみ野や八王子に活動の幅を広げ、新たな参加者の獲得につながった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所をもっと、みなみ野、八王子地域と広げていきたい。</li> <li>・事業内容は、人気のあったオイルマッサージの内容をより深く学べるようにするなど引き続きニーズのあったものにしていきたい。</li> </ul>
---------	---

## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	MOA 美術館八王子児童作品展		
団体名	MOA 美術館八王子児童作品展実行委員会		
事業費	254,796 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 日頃子どもたちの創作活動を奨励することで、「社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成」「自ら学び自ら考える力などの生きる力の育成」「伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与」など、子どもの健全なる成長を願い、社会教育ならびに情操教育の一端を担うこと
	内容 市内小学生児童を対象に、絵画作品の募集、いちょうホールに於いての全数展示、審査、表彰、ワークショップの実施。 入賞作品について、市内の病院や飲食店等に展示。

事業の活動実績	<p>作品展の概要は、以下のとおり。</p> <p>作品の募集期間：2015年6月15日より9月15日迄</p> <p>募集方法：実行委員が、学校や児童館絵画教室へ訪問。市内公共施設にポスターの掲示。</p> <p>展示期間：2015年10月31日と11月1日の2日間、いちょうホール展示室にて。</p> <p>巡回展示の期間と場所：年2015年11月から2016年1月末まで、市内26ヶ所にて（別紙参照）</p>
	<p>市内小学生児童223名から絵画作品の応募があり、全数をいちょうホール展示室に展示した。3名の審査員により、審査を行い、33名を表彰した。</p> <p>市内の26軒の病院、飲食店等に協力頂き、施設や店内において、33名の入賞児童の絵画作品を巡回展示した。</p> <p>打越中学校の美術部の生徒さん7名（有志）、及び八王子志民塾の卒業生の他、多くのシニアの方々に、ボランティアとして参加協力頂いた。</p> <p>また、いちょうホール展示室では、2日間の展示期間中に、空き缶を利用した手作りの花器に一輪のお花を活けて持ち帰ってもらう簡単な(数分の)ワークショップを実施した。参加人数は約40名。</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>表彰式の会場に、巡回展示の様子を示す写真パネルを掲示したところ、表彰式に参加したほとんどの親子が、パネルの前に来て、楽しんで見て行かれ、また、実際にお店を訪問したり、お店にお手紙を届けるなど、巡回展示会場と交流をされた。</p> <p>普段、いちょうホールに足を運ぶことが少ない市民の方々にも、病院/飲食店等に児童の絵を楽しんで頂け、患者さん、お客さんから元気になった、励まされたという沢山のメッセージを頂いた。メッセージの内容から、お店という堅苦しく無い環境で、1点の児童の絵に、大人達が心を奪われ、時には、勇気づけられたことが確認できた。お店に、家族づれで、来られた児童のご両親からも、児童の自信になるので、継続して行って欲しいとコメントを頂いた。</p> <p>病院内スタッフの方々からも、待合室の雰囲気、子供達の絵で、変わったというコメントを頂いた。飲食店のオーナーさんからは、地域に根付いて商売を続けたいと常々考えている中で、市内小学生やご家族と、絵を通じて繋がれることは、ありがたい機会なので、今後も継続したいとコメントを頂いた。</p> <p>昨年、巡回展示の参加希望を頂いた、介護事業所、八百屋、整体院、ラーメン屋にも展示をすることが出来た。また、来年参加したいという希望を、カレー屋さん等から頂いた。</p> <p>26件の巡回展示の様子を掲載したチラシを制作して、広く市民に配布することが出来た。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ① ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	タウンニュース (地元ミニコミ誌) に、活動内容が掲載され、約10万部配布された。2015年11月19日号 <a href="http://www.townnews.co.jp/0305/i/2015/11/19/308931.html">http://www.townnews.co.jp/0305/i/2015/11/19/308931.html</a> (Web版)

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、巡回展示会場の軒数を増やすことより、巡回展示会場での、交流が深まることに取り組んでゆきたい。実行委員の負担を減らすため、準備作業や資料作成の内容を標準化して、誰でも担当出来、長く継続出来る体制を作って行きたい。</p>
---------	--



平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

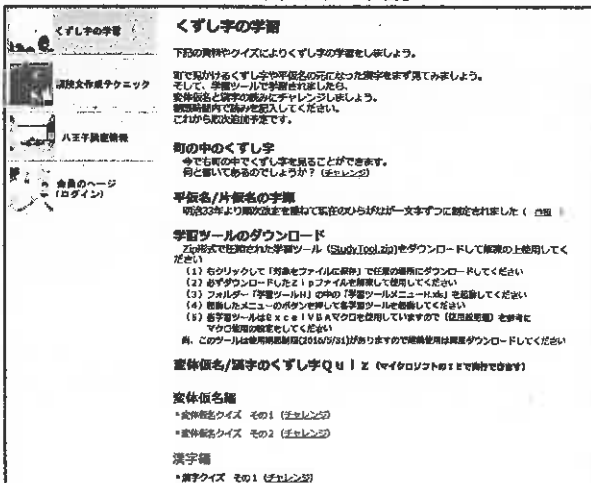
事業名	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ		
団体名	学園都市大学古文書研究会		
事業費	100,507円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 古文書愛好者に向けたホームページは無数にある。しかし、自分の解読力を試したり、レベルアップを図る学習ツールを提供するものはあまりない。楽しく遊びながら、解読の力を付けるページづくりをめざす。
	内容 前年度は市民企画事業補助金の交付を受けて、当会HPの基本的な立ち上げのための内容がほぼ揃った。次の一年で①古文書愛好者のための古文書学習システム、②八王子市民のための歴史・古文書関連の講座情報検索システムを構築する。

事業の活動実績	<p>くずし字や歴史に興味を持っていただくためのコンテンツを作成</p> <p>(1)くずし字に興味を持っていただくため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子近辺に残るくずし字を掲載 (店の看板の写真を撮る)</li> <li>・ひらがなとカタカナの字源の表を掲載</li> </ul> <p>(2)くずし字を学習していただくために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelで作成した学習ツールをダウンロードして使用していただく機能作成</li> </ul> <p>(3)解読の実力を試していただくために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変体仮名及び漢字のくずし字の学習をクイズ形式で提示</li> </ul> <p>(4)古文書の解読文を作成するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書をワード縦書きで記載するためのテクニックを掲載</li> </ul> <p>(5)実際の古文書に触れていただくために</p> <p>当会で解読をおこなった古文書の原文コピーと解読文を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会の会員が所持している古文書を掲載 (会員の許可による)</li> <li>・大学図書館の古文書の一部ページの掲載 (図書館の許可による)</li> </ul> <p>(6)歴史に興味のある方に</p> <p>いちょう塾、市民自由講座、郷土資料館、夢美術館の講座の中で歴史や古文書に関係する講座を選択して一覧形式で掲載</p> <p>詳細はそれぞれのページへのリンクで確認可能</p>
---------	--

<当ホームページの「くずし字の学習」のページ>

<いちょう塾作品展での展示内容をホームページにも掲載>



事業の成果・効果	<p>一昨年の活動により昨年ホームページを開設しましたが、内容としては十分なものではありませんでした。今回の活動としては、市民の皆様へ古文書に興味を持っていただけるものを検討しサイトに掲載しました。掲載にあたっては徐々に興味を持っていただくために、まずは身近なところにあるくずし字に触れていただく様にしました。いちよう塾の作品展でも来場者に好評でした八王子近辺の町の中に今も残るくずし字やひらがな/カタカナの字源(字母)を掲載しました。また、市の指定文化財の片倉の住吉神社の算額の解析を行い掲載しましたので市の文化財にも興味を持っていただけたと思います。さらに、くずし字を自身で学習していただくため、Excelで作成しました「くずし字学習ツール」をダウンロードして使ってください様にしました。更新がかかること、及び、ソフト資産保護の為、使用期間限定とさせていただきます。学習の後に実力を確認していただくためのクイズを作成しました。時間制限/採点で楽しんでいただけたと思います。実際の古文書に触れていただくため、古文書の原文を掲載しました。最初は表示されていませんがクリックすると解説文が表示される様になっています。掲載には所有者の許可が必要となりますが、それぞれ快諾していただきました。また、歴史に興味をお持ちの方のために、市の関連施設(いちよう塾、市民自由講座、郷土資料館、夢美術館)で開催される講座から、独自に歴史に関連する講座を選択して一覽にしました。それぞれの掲載ページを表示するためのリンクを付けました。</p> <p>以上の掲載記事により身近なところからくずし字に興味を持っていただき、実際の古文書に触れていただくことで市民の方の生涯学習の刺激になると思います。今回の掲載以前はアクセスカウンターは400程でしたが、更新後4月14日現在で636になっていますので、会員以外の方もかなりアクセスしていただいていると思われます。</p> <p>当会サイト「学園都市大学古文書研究会」<a href="http://tk2-230-24951.vs.sakura.ne.jp/">http://tk2-230-24951.vs.sakura.ne.jp/</a></p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>当初「くずし字学習ツール」のWeb版を作る計画でしたが、外部委託に予想以上の費用がかかることが判明したため、ツールそのものをダウンロードして使ってくださいよう方針を変更しました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>ホームページを外部に依存せず会の中で立ち上げ、更新できたことは、他の活動グループでも実践していただくことができるという事例が提示できたと思います。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後は下記掲載物を順次追加し充実させていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くずし字クイズの追加(初級、中級、上級に分類を考慮)</li> <li>・解説古文書の原文/解説文の追加掲載</li> <li>・八王子講座情報の更新</li> </ul> <p>さらにチャレンジとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くずし字学習ツール」のWeb化</li> </ul>
---------	---

平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	みなみ野サマーブリーズコンサート		
団体名	みなみ野サマーブリーズコンサート実行委員会		
事業費	1,156,041円	補助金額	578,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

目的  
人と人とのつながりが希薄だと言われている昨今、みなみ野シティというニュータウンにおいて誰もが親しめる「音楽」を核として世代を超えた人のつながりを創り、そのことによつて特に子ども・若者の潜在力を引き出し、未来を見据えた地域力を育むことを目的とする。

内容  
みなみ野駅前で、主に地域の小中学生や高校、大人の音楽およびダンスクラブ等の発表イベントを開催する。なお、音楽体験活動としてタップダンス教室、学生のための運営体験として音響、ポスター作成、スタッフTシャツ作成、撮影記録を担当させる。

事業の活動実績	<p>実施日時：2015年7月19日(日) 10:30~19:00 実施場所：JRみなみ野駅前 広場                  出演者数：557名 推定来場者数：2,400名(パンフレット数から推算)                  1) 事前活動・・・事前打ち合わせ(9回)、ポスター等の製作、各種調達(ステージ等)                  費用削減の取組み：ステージ含めた会場設備関連は追加資材が発生したが、費用調整を実施し当初予算から削減。ボランティア要員に掛かる費用は企業のCSR活動とタイアップすることでスタッフとして無償で参加いただいた。                  2) 当日の活動                  【コンサートステージ】                  みなみ野小学校/音楽クラブ、みなみ野君田小学校/ミュージッククラブ、みなみ野中学校/吹奏楽部、七国小学校/音楽クラブ、七国中学校/吹奏楽部、みなみ野小中教員バンド、みなみ野君田小先生バンド、都立昭和高等学校/音楽同好会、瀧澤 克成(ゲスト出演)他4団体                  【パフォーマンスステージ】                  フラダンスサークル、狛江市立第二中学校/ダブルタッチ部、都立国立高校/マジック研究会、都立南平高校/ジャグリング部、早稲田大学/下駄っパス、都立八王子東高校/男性合唱団、中央大学/タップダンスサークル、キッズダンス(市民アマチュアダンス)、都立町田高校/ダンス部、都立町田総合高等学校/ダンス部、都立松ヶ谷高等学校/ダンス部                  【模擬店】ふきのとう、もぐらはうす、地域の飲食店/雑貨屋</p>
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>《小中学生》音楽クラブ・吹奏楽部・ダンス部の子どもたちは地域での発表の場となり、発表前後のインタビューでも「イベントを成功させたいという」発言が多く、自分も地域の一員であることの自覚が現れた。</p> <p>《高校生》コンサートの準備・実施中の手伝いをすることによって、地域行事というものが小さな力の集まりで成り立っていることを体験。</p> <p>《大学生》音楽や美術という専門性を具体的に社会に生かす体験を通して、イベント推進で発生する課題に直面し対応することで、課題解決能力を高める実践の場となった。また、運営スタッフとしてのボランティア参加に際しては、地域課題であるコミュニケーションの希薄に対し、違う世代・立場の人々とのコミュニケーションが行われ、貴重な課題解決の機会となった。</p> <p>《地域住民》多くの地域行事がそうであるように、携わることによって「顔の見える関係」を作ることができ、子どもの健全育成に大きく貢献できた。また、住民同士の世代間をつなぐ場としても有効に作用した。</p> <p>《総括》</p> <p>より多くの人々が八王子みなみ野を訪れ、活発なコミュニケーションが行われ、地域の活性化に繋がりました。また、今回の補助金の交付で、これまでできなかったステージの設置が新たにできたことによって、昨年より観覧しやすくなったと同時に、発表側も緊張感をもった見栄えのある発表がされていた。さらに、このイベントで発表することにより発表者が感動を与え、観客が感動をうけた。さらに、このイベントの場を設けたことへの感謝の気持ちも感じることもできた。これにより発表者、観客、実行委員のそれぞれの中で「心の充実」を味わえることができ、豊かな心を育むことに寄与できたと考える。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>出演者のファンが他県からも来場されていた。これにより市外の方に八王子市を知ってもらう機会にもなったと考える。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>新スタッフの育成に重点をおき、限られたリソースを活用するとともに、新スタッフの意見を反映させイベントの充実を図っていく。また、財源とスタッフの課題については、冬季に実施しているみなみ野イルミネーションとコラボレーションスポンサー企業増加とスタッフ増員を図る。なお、大手企業のCSR活動との連携する施策については今年度ボランティアとして協力を得ており来年度も引き続き連携を行う。</p>
---------	---

## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	～いつもの教室がステージに～ アウトリーチコンサート		
団体名	特定非営利活動法人チェロ・コンサートコミュニティー		
事業費	593,307円	補助金額	270,000円

事業の目的・内容	目的 アウトリーチコンサートは、NPO法人チェロ・コンサートコミュニティーが企画・運営をする地域密着型のコンサートである。本コンサートのコンセプトは、音楽を通じて青少年の無限の可能性を引き出すこと。児童・生徒が間近で演奏を視聴することで、演奏する人の熱意を肌で感じ、音楽の素晴らしさや音楽に対する興味関心を高め、豊かな心を育むことを目的としている。
	内容 八王子市内小中学校に出向き、いつもの教室、いつもの音楽室をステージにしたチェロとピアノのコンサート開催と、本物のチェロに触り楽器の難しさ、奥深さを味わうことが出来るチェロ演奏体験を10公演開催する。(演奏体験は小学校のみ)2006年から毎年開催し、計118校21,400名以上(児童の他、教職員、PTA、学校評議員、地域の方々など)が参加した、一大イベントである。

事業の活動実績	【日時】7月11日(土) 10:20~11:55 鑑賞/演奏 ※2回実施入れ替え制 【学校名】八王子市立由井第一小学校 【対象】6年生/89名
	【日時】2015年7月14日(火) 10:40~11:25:チェロ演奏鑑賞のみ 【学校名】八王子市立別所小学校 【対象】5年生/58名
	【日時】2015年9月8日(水) 10:20~12:00 鑑賞/演奏 2回実施入れ替え制 【学校名】八王子市立宇津木台小学校 【対象】6年生/90名
	【日時】2015年10月6日(火) 10:20~11:55 鑑賞/演奏 2回実施入れ替え制 【学校名】八王子市立長池小学校 【対象】5年生/101名
	【日時】2015年10月29日(木) 10:40~12:15 【学校名】八王子市立高倉小学校 【対象】4年生/50名
	【日時】2015年12月7日(月) 10時35分~12時10分 【学校名】八王子市立中野北小学校 【対象】3~6年生 ※演奏鑑賞:3~6年生/80名 ※演奏体験:5~6年生のみ/45名
	【日時】2015年12月9日(水) 10時40分~12時15分 【学校名】八王子市立由木西小学校 【対象】5~6年生/25名
	【日時】2015年12月15日(火) 10時40分~12時15分 【学校名】八王子市立長房小学校 【対象】5~6年生/40名
	【日時】2015年12月17日(木) 10時40分~12時15分 【学校名】八王子市立恩方第一小学校 【対象】6年生/61名
	【日時】2015年12月22日(火) 10時45分~12時20分 【学校名】八王子市立長沼小学校 【対象】6年生/66名
【日時】2016年2月9日(火) 10時40分~12時15分 【学校名】八王子市立愛宕小学校 【対象】6年生/51名	

事業の成果・効果	<p>【実施校数】11校、</p> <p>【参加児童数】711名（教職員、学校関係者、見学保護者、PTA等除く）</p> <p>【成果・効果】</p> <p>参加募集通知が新学期ぎりぎりになってしまい、新年度の授業時間に組み込めるか心配もあったが、例年通りの実施校数となった。</p> <p>プログラムは、まずは児童たちに楽器に触れ音を出させることでその難しさを知り、その後、演奏者たちの演奏を聴く形を取った。演奏の難しさを知ったうえで演奏鑑賞となり、児童たちの関心、興味、探求心を大いに引き出すことが出来き、その効果は感想文からも読み取ることが出来る。</p> <p>【まとめ】</p> <p>今後は、より安定した運営基盤をつくるためにはどうしたらよいかを検討していく必要がある。併せて、マンパワー不足を解消するための検討も必要と考える。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    ②概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ②多少の変更があった    3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 予定していた公演数を上回ったため
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>本コンサートをより広く知ってもらい、その内容や文化価値などをアピールし、助成金に頼らない運営方法を模索しながら、永続的に展開していきたい。</p>
---------	--



## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域から考える持続可能な食と農 作って、食べて、語り合うコミュニティ・キッチン in 八王子		
団体名	八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」		
事業費	600,479円	補助金額	300,000円

事業の目的・内容	目的 身近な地域の持続可能性について、食と農を切り口に参加型の学びとネットワークを拡げること。食を通じた交流の場―「コミュニティ・キッチン」の機会を作りながら、地域の農業や生産物・生産者、また環境について、広く考え合う。一人ひとりの暮らしのあり方を見直すことにつながる学習、特に地域農業や環境の豊かさを守る意識と行動につながる育ち合いの場づくりをめざす。
	内容 八王子の在来種野菜を知り、ともに調理し、食べ方を教わりながら味わう「コミュニティ・キッチン」の機会を提供した。私たちの食のあり方や、地域の環境をグローバルな視点でとらえる講座や参加型ワークショップ、上映会、また農にかかわる人との出会いや交流ができる場を全10回企画し、参加者どうしでさまざまなディスカッションや学習、関心を喚起する機会とした。

事業の活動実績	①2015年5月30日「川口エンドウを食べて味わう 八王子の江戸東京野菜」 講師：福島秀史・上原恭子（江戸東京野菜コンシェルジュ協会理事）、高野重春（生産者） （会場：クリエイトホール調理講習室、参加者：20名）、*エンドウの紹介、調理、実食と参加者交流
	②2015年6月27日「フードマイレージと地産地消」 講師：中田哲也（農林水産省統計部、「フードマイレージ資料室」主宰） （会場：クリエイトホール学習室、参加者：19名）、*フードマイレージワークショップの実践とレクチャー
	③2015年7月19日「半農半Xという生き方」 講師：塩見直紀（半農半X研究所代表、京都府綾部在住） （会場：クリエイトホール視聴覚室、参加者36名）、農ある暮らしと天職 提言とワークショップ、話し合い
	④2015年7月21日「コーヒーの秘密 上映&参加型ワークショップ」 ファシリテーター：大野のどか（開発教育協会）、花崎晶（PARC理事）*フェアトレードの学習とワーク 上映「コーヒーの真実」上映とワークショップ（会場：ハカルワカル広場、参加者13名）
	⑤2015年8月22日「生物多様性から考える食と農」 講師：坂田昌子（国連生物多様性の10年ネットワーク代表、高尾在住） （会場：クリエイトホール学習室、参加者15名）、*高尾山の生物多様性と国連の条約、私たちの食と環境
	⑥2015年9月17日「八王子ショウガを知って味わう」 講師：福島秀史・上原恭子（江戸東京野菜コンシェルジュ協会理事） （会場：子安市民センター調理実習室、参加者13名）*在来種のショウガの紹介、調理、実食と交流
	⑦2015年10月31日「アンニャ・ライトライブ&トーク いのちと食べ物」 講師：アンニャ・ライト（オーストラリアの環境活動家&シンガー） （会場：カフェ ilulu、参加者20名）、*来日中の環境活動家の経験と歌、メッセージを聴き、交流
	⑧2015年11月3日（祝）牧場まつり講座「ユギムラファームの歴史と今」 講師：鈴木亨・船木翔平（FIO代表、農業者） *鈴木牧場の歴史と里山保全、新しい取り組みを知る 上映「いのちの種を抱きしめて」（会場：ユギムラ牧場、参加者約25名、まつり参加のべ90名以上）
	⑨2015年12月5日「幻の「高倉大根」を知って味わう！」 講師：福島秀史・上原恭子（江戸東京野菜コンシェルジュ協会理事） （会場：クリエイトホール調理実習室、参加者20名）*高倉ダイコンを守る努力を聞き、その魅力を実食
	⑩2016年2月27日「よみがえりのレシピ 上映会とトークショー」 渡辺智史監督・大竹道茂（江戸東京野菜研究者）・福島秀史（江戸東京野菜コンシェルジュ協会理事） （会場：北野市民センターホール、参加者141名）*山形の在来作物のドキュメンタリー映画とゲストトーク



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間を通して様々な切り口から、「食」と「農」をテーマにした講座やイベントを継続できたことで、参加者それぞれが身近な地域での関わり方を考える機会、視点を広げる契機を提供できた。また、継続的な参加者どうしの関係ができたと思う。</li> <li>・ 地産地消を考える上で役立つ「フードマイレージ」という観点や、地域に貢献し自らも天職を見つける「半農半X」の生き方、地元高尾山の「生物多様性」、自然農、地球環境問題など、新しい視点と提言を含む講座を開催でき、好評を得ることができた。</li> <li>・ 八王子の江戸東京野菜3種（川口エンドウ・八王子ショウガ・高倉大根）の存在を市民に紹介し、生産者・料理家とともに、在来種を継承する歴史的意味の学習や調理実習、味わいを市民に知っていただく試食を季節に合わせて開催できた。1つの野菜との出会いが、自らの味覚や食事、暮らし全体のありかた、地域農業や食物自給、環境保全の関心にも広がるという貴重な意見交換ができた。</li> <li>・ 「フェアトレード」を理解するワークショップや、海外の環境活動家のトークライブなどを通じて、1人1人の「食」とグローバルな課題が繋がっていることを知り、実感する場を設けることができた。フェアトレードについては次年の学習課題にもつながった。</li> <li>・ 「よみがえりのレシピ」上映会では、予想を超える141名の参加者が集まり、江戸東京野菜や在来作物について認知度が高まり、地域農業やコミュニティを見直していく交流トークができた。江戸東京野菜頒布や「食べる通信」の紹介、地域製品の紹介もできた。</li> <li>・ 八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」の活動を知って頂いた方が増え、地域の市民としてさまざまな観点で持続可能性を考えていく人々のつながりに可能性を感じる事ができた。「食と農」講座継続の要望も多く頂いた。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 広報・宣伝費は現実的にはチラシ類の印刷や紙などの経費に多く出費され、ビデオ等を作る余地はなかった。できるだけ参加型の場を増やすことを優先し、経費をしぼって計画数以上の講座・上映会を開催した。
	その他、評価すべき点等	当初の計画以上の内容・回数の企画を年度内に実践でき、かつ今後のつながりや可能性を残せたことはよかった。講師や参加者の人柄、実践など魅力的な人材が多く、内容として深み、広がりを持てたことが非常によかった。また、上映会とワークショップやトークの場はいずれも好評だった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子の生産農家さんや新規就農者、市内料理店などとのつながりができたので、今後は農家さんの畑を訪ねるなどの取り組みが継続できれば、より実践的で市民参加のすすむ場ができるのではないかと考えています。また、フェアトレードについては地域にとっての公共性・公正（フェアネス）も視野に入れ、次年度、別講座の開催を決めました。今年度延期となった子ども食堂とのコミュニティ・キッチンラボ、地方の元気な農業家の招待講座などを実行していきます。市民の関心とマッチする上映会等を行うことで自己資金を作りながら、持続可能性について提言する講師を招くなど、学習・交流の場づくりを展開していきたいと考えています。</p>
---------	--



## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	お外へぼん！未就学児親子の遊びと体験		
団体名	特定非営利活動法人八王子子ども劇場		
事業費	726,730円	補助金額	341,000円

事業の目的・内容	<目的> 自然の中での遊びや文化体験に参加し楽しむ中で感動を共有した仲間を得る。子育てを楽しみ、子どもがその中で育つ空間である地域に関心を持ち、子育てしやすい八王子を共に考える第一歩となることを目指す。
	<内容> 未就学の親子の参加をチラシ等で募り、外あそびを中心に食育や文化・八王子の自然を体験する。次回の企画について話し合うことで次第に自主的な姿勢を持ち、人々とのつながりをもとに、家庭から社会参画へのきっかけをつくる。

事業の活動実績	4月	スタッフ打合せ 4/20 当団体事務所 5名
	5月	スタッフ打合せ 5/19 当団体事務所 5名 「原っぱで外あそび」 5/24 6名 浅川河原:とても暑い日だったので臨機応変に子どもたちの要望で川遊びに変更
	6月	スタッフ打合せ 6/10 当団体事務所 5名
	7月	スタッフ打合せ 7/15 当団体事務所 5名 「水遊びであそぼう」 7/20 31名 府中郷土の森 : 自己紹介のゲーム、準備運動、水遊び、昼食、宝探し等のゲーム。解散。 (「小比企たんけん〜おいもほり」 7/27 2世帯 :成長途中のサツマイモを観察、小比企の丘を散策。
	9月	キャンプ事前交流会とスタッフ打合せ 9/6 明神町四町目会館 当団体事務所5名 交流会はしおりを配り、参加者の交流と不安の払しょく スタッフ打合せ 9/16 当団体事務所 5名 「お月見キャンプに行こう」 9/26〜27 町田市大地沢青少年センター 参加者44名。一緒にご飯を作り、食べ、遊んでお風呂。宿泊の班でも行動。夜は野外でシーツのスクリーンに絵本を映しての読み聞かせと語り。
	10月	スタッフ打合せ 10/23 当団体事務所 5名 「おいもほり」 10/31 小比企町中西農園 31名: 小比企の丘を散策。成長したサツマイモの収穫。その他、畑の作物の観察と収穫。
	11月	スタッフ打合せ 11/17 当団体事務所 5名 いちょうまつりに出店 11/21,22 長房市民センターわくわく広場河川敷 参加5世帯:
	12月	「クリスマス会」 12/5 北野市民センターホールと和室で交流会 参加:70名
	2月	スタッフ打合せ 2/18 当団体事務所 5名 「フリーマーケットに出店」 2/27 抽選に外れ、当事務所1階スペース0☆100にて。 参加:4組
	3月	スタッフ打合せ 3/17 当団体事務所 5名 「ぐうちよっぱっ劇場！」 3/26 クリエイトホール5階ホール。 参加者:54名 大まかなストーリー以外は観客とつくっていく参加型の劇。乳児はその場を楽しみ、2〜3才の幼児は想像力を働かせ、あおむし君とハラハラドキドキを共有して物語の中に入り込んだ。



事業の成果・効果	<p>外遊びなど自然に親しみのびのび遊ぶことができた。特に小比企町でのおいもほりは、下見をするうち土地の素晴らしさを再発見。普段は入れない畑を歩いて実った作物を観察、散歩しながら地域の自然を紹介し体感する企画を増やした。農園の方、そこを手伝う地域の小学生との交流にもなり、人の温かさにもふれた。</p> <p>キャンプや水遊びも八王子市と境を接する場所や市外だが行きやすい場所へのお出かけを経験することで家族だけでも気軽にしかけるきっかけ、ハードルが下がるなどになったと思う。キャンプなども野外の調理やまき割りなどもなるべく参加親子に体験して貰う様にして、保護者である大人の体験も増やした。ひいては家庭内、子ども達へつながると思う。</p> <p>1つのイベントの中でも参加者同士親睦が深まるようなゲームを実施。気軽に話せる環境を心掛けた。寒い季節では室内のコンサートや劇遊びの企画に重ねて参加する中で親交が深まった。</p> <p>いちよう祭りやフリーマーケットでの出店準備や当日の販売手伝いなど親が子どもに体験させたいと連れてきた世帯もあった。子ども達もお店屋さんごっこのノリで活躍。看板を描き呼び込みをしたり、ポップコーンやパンケーキを売りながら、お客さんとのやり取りにチャレンジ。人が途切れると店外へ出て人に売り込んだり、より売れる並べ方を工夫して提案したり。遊びに関しても状況を見てより楽しめる方法を考えるなど、主体的な行動が次第に見られるようになり頼もしかった。</p> <p>地元のお祭りやフリマでも地域の人との交流を通して褒められたり、勇気を出して頑張り小さな達成感を味わったりと、小さな体験が子ども達の中で積み重なって自己肯定感や地元への愛着に育って欲しいと願う。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	私達も企画するうちに八王子の良さを改めて認識し、また新しい魅力の発見もできた。地域の方ともつながりができ、次の企画につなげることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今回の事業で得た成果や反省をおおいに活かし、助成金に頼らない様な組み立てを工夫した事業計画を立て、市内の親子にむけて実施していきます。会場も八王子の良さを実感でき、参加しやすい場所で計画し、実施します。(7月「夕やけ小やけふれあいの里」など)</p>
---------	--

平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ		
事業費	1,387,041円	補助金額	629,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>高齢化によって放置された果樹林や耕作放棄地の手入れをし自然環境や防犯に貢献する。プチ農家や小規模農家と一般市民の媒体となり、人・物・心をつなぐコミュニティの再生・活性化で、生産加工販売の統合化、地産地消、経済の活性化、環境保全を目指す。</p>
	<p>内容</p> <p>1、耕作放棄地の荒廃改善および活用による農家支援・環境保全・農業維持                  2、地元農産物の加工・販売・宣伝による特産品開発・地域観光活性化への寄与                  3、講習会、料理教室、試食会等イベントの開催による地域農産物の普及、地域の活性化                  4、農に関心の高いシニアや若人の活躍の場の提供および活用</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27,4~28,3 朝市 (9回)・サロン開催 (12回) NPO 法人らいふねっと MOE 60名)</li> <li>・ 〃 サロン開催 (10回) カフェ Suzu ( 50名)</li> <li>・4月高月町畑篠刈り→5月トマト苗・ジャガイモ植え付け</li> <li>・4/17 花と緑のフェスティバル出店</li> <li>・ラベル・タグデザイン依頼</li> <li>・5月よりイオンモール日の出「食の駅」にて加工品販売開始</li> <li>・市民活動協議会主催「マルシェ」出店</li> <li>・6月梅坪町へび瓜棚設置 へび瓜苗植え付け</li> <li>・8/30 ブルーベリー作り講習会 (中野市民センター30名)</li> <li>・8/31 トマトソース作り講習会 (みついで30名)</li> <li>・8/12 バジルソース作り講習会 (上壱部方町20名)</li> <li>・8月より高尾山口案内所にて加工品・へびうり販売開始</li> <li>・8月~9月梅林草刈り・蕎麦種まき</li> <li>・11月梅おかか作り講習会 (上壱部方町 10名)</li> <li>・いちよう祭り出店</li> <li>・12月柚子みそ作り講習会 (川口市民センター 20名)</li> <li>・12月獅子柚子ママレード作り講習会 (川口市民センター 20名)</li> <li>・1月我笑会へ食事サービス (川口市民センター40名)</li> <li>・3月お父さんおかえりなさいパーティ出店</li> </ul>
---------	--



放置された梅林の手入れ (葛の根っこの掘り起こし)



朝市での買い物風景

事業の成果・効果

- 1、耕作放棄地の荒廃改善および活用による農家支援・環境保全・農業維持について  
耕作放棄した高月町の畑を耕作しトマト・玉ねぎ・ヤーコン・ジャガイモなどを栽培、梅坪町の荒廃地にて竹粉を敷き詰め除草の手間を省くへび瓜栽培に成功したことで、伐採後の処理が難しい竹の利用法を開拓。  
へびうりは今年栽培してみて、初心者にも栽培可能であることが分かり、耕作放棄地利用やグリーンカーテンに適用できることを実感。今後、農家支援・環境保全・農業維持に大いにつながることを確信した。
- 2、地元農産物の加工・販売・宣伝による特産品開発・地域観光活性化への寄与について  
すまいるブランドの立ち上げを目指して、耕作放棄地で栽培したトマトや玉ねぎ、バジルなどをソースやピクルスに加工販売。生産から加工まですべて手作りであることをアピールすることで、安心・安全であることが理解され、販売数の増加につながった。  
栽培容易なへびうりを栽培し食材としてレシピを付けて高尾山口案内所で販売。ユニークな容姿とめずらしさから毎週完売した事で、あらたな八王子特産物の開発に寄与したのではないかとの感触をつかんだ。
- 3、講習会、料理教室、試食会等イベントの開催による地域農産物の普及、地域の活性化  
トマトソース・バジル・玉ねぎ・ブルーベリー・柚子・獅子柚子など、耕作放棄地や放置された課樹林での収穫物を使つての講習会で地元存在する農産物の紹介を通して、地域の活性化に寄与した。
- 4、農に関心の高いシニアや若人の活躍の場の提供および活用。  
プチ農家や小規模農家の生産品を、毎月第4日曜日に鹿島地域の朝市で販売し、丹精込めた野菜を直接消費者に届ける事が出来た。朝市では毎回開店前にお客さんの列が出来ており、20品目300点余りが30分ほどで完売することも。買い物困難な鹿島地域にとってすまいるカフェの活動が重要な購買元になっていることを自負している。  
この事は、千葉大学生が地元住民に取材したアンケートの結果にも反映されている。  
夏休みに中学生ボランティアがへび瓜の収穫に参加、農業の楽しさに触れ将来の選択肢のひとつを提供することが出来た。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 人件費にかかる費用の判断ミスにより差額が生じた 耕作道具を計上してなかった為、計画書には無い余分な出費が生まれた
	その他、評価すべき点等	「はちとび」八王子の農業に掲載された。 すまいるブランド化という目標は、ラベル・タグの充実と、加工品数・販売数共に増加したことで一応成功したといえる。また、民間の助成金を獲得するなど、自立に向けた資金の確保に取り組んだ。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

事業展開	今後の ・ジャムなどの加工品作りは継続し、合わせてドライトマトなど、新たな加工方法を試み商品に付加価値をつけ、販売数の増加を目指す。 ・八王子で処理に困っている竹を使った竹粉・落ち葉・ぬかを使ったたい肥を研究し、循環型農法で環境に優しい野菜づくりに取り組む。
------	---

平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	2015 春やすみ夏やすみ ふくはち交流合宿		
団体名	福島子ども支援・八王子		
事業費	1,542,938円	補助金額	700,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>東日本大震災及び福島原発事故により被災した子どもと保護者を八王子に招き、福島と八王子の子どもたち同士、また保護者のみなさんと八王子市民の交流、協同・学習の機会を提供する。八王子市民にとって遠い被災地の状況を肌で感じる学びの場となるよう、また、被災者にとっても、応援したいと思っている八王子市民との触れ合いが、明日への活力となるよう交流を深める。</p>
	<p>内容</p> <p>1) 春休みと夏休みの年2回、八王子のボランティア市民と子ども達が、福島の親子と一緒に自然溢れる環境の中で「交流合宿」を開催。子ども達には自然遊びやワークショップを、保護者向けのケアプログラムの他、地元産の野菜の手づくりの食事、八王子の地元農家との交流イベント等も開催。</p> <p>2) 八王子市民に福島や合宿の様子を伝えるチャリティイベントや講演会の開催広報活動を行う。</p>

事業の活動実績	<p>●「春やすみふくはち親子交流合宿」開催</p> <p><b>日時</b>：4月1日～4月4日 3泊4日 <b>場所</b>：大池沢青少年センター センター内で宿泊&amp;外遊び</p> <p><b>参加者</b>：福島からの親子42名 八王子近隣のボランティア のべ156名あまり</p> <p><b>内容</b>：地元農家さんのお野菜で栄養士さんをボランティアで手づくり食事。 春山ハイキング、プレーパーク、楽器づくりWS、お母さん向けマッサージなど</p> <p>●5月～7月 春休み合宿報告作業、夏休合宿準備（ミーティング&amp;企画、参加者募集、食材手配など）</p>
	<p>●「夏やすみふくはち親子交流合宿」開催</p> <p><b>日時</b>：8月2日～8月6日 4泊5日 <b>場所</b>：大池沢青少年センター センター内で宿泊&amp;外遊び</p> <p><b>参加者</b>：福島からの親子48名 八王子近隣のボランティア のべ223名あまり</p> <p><b>内容</b>：野外調理（ナン&amp;カレー）ライブ&amp;音遊びWS、八王子の栄養士による料理教室、子どもたちみんなでオリジナルふくはちソングづくり。高尾山登山、地元農家さんでブルーベリー摘みなど</p> <p>●9月夏休報告作業&amp;チャリティ上映会企画</p>
	<p>●チャリティ上映会「小さき声のカノン上映会&amp;監督トーク」開催</p> <p><b>日時</b>：10月17日（土） <b>場所</b>：八王子市北野市民ホール 参加者：115名</p> <p><b>スケジュール</b>：第1回上映10時～12時～監督トーク&amp;ふくはち活動紹介 第2回上映13時半～</p>
	<p>●チャリティライブ&amp;トーク開催</p> <p><b>日時</b>：2月28日（日） <b>場所</b>：アマダステーション 参加者：45名</p> <p><b>スケジュール</b>：14時～ライブ（chiaya/大熊麻子） 15時～避難者のお母さんからのお話 鹿目久美さん 16時～ふくはちの活動紹介&amp;会場のみなさんとで座談会</p>
	<p>■その他広報活動・5月24日「みんなちがってみんないい」参加 ・10～12月八王子市民平和月間参加 9月古本まつり参加 ・10月牧場マルシェ参加</p>



事業の成果・効果	<p>■ <b>多様な八王子市民の参加が増えた。</b></p> <p>4年目の今年度から、八王子市内の大学の学生と一部中高生が保育のボランティアとして大勢（十数名）参加し、子どもたちとお母さん達との交流を深めた。いろいろと心痛を抱えている福島の子供たちへ寄り添い、こども達にとってかけがえのない思い出になったとの感想もあり、また八王子の学生たちにとっても福島に暮らす人たちの様子を肌で感じる良い機会となった。</p>
	<p>■ <b>八王子らしいプログラムで交流が深まった。</b></p> <p>センター内での遊び加え、高尾山ハイクや地元農家さんの畑でブルーベリー狩りの他、多摩地域の木でできた積み木遊び、八王子市内のアーティストによるライブ、八王子の栄養士さんと福島の郷土料理づくりなど、福島のみなさんに八王子の良さを楽しんでもらうこと、八王子の市民に福島の味を楽しむなど、交流を深めることができた。次回は福島のお母さんたちによる郷土料理づくりもしたいなど、感想があった。</p>
	<p>■ <b>福島のお母さんたちに意識変化が生まれてきた。</b></p> <p>心身共に親子でリフレッシュできて、この合宿を楽しみに福島で前向きに暮らしていけるとの感想がたくさんあった。この交流活動を継続して欲しいとの思いから、福島のお母さん達も企画や活動への参加をしていきたいなどの思いが芽生えつつあり、様々な機会を通して交流をひろげていきたいとの話も出始めるなど、福島のお母さん達に前向きな気持ちが増えてきた。</p>
	<p>■ <b>参加した八王子市民同士がつながり、新たな活動が生まれている。</b></p> <p>ふくはちの合宿に参加した人たちが、それぞれ、また他の場所で協働したり、情報交換して、新たな取組みや活動につながっている。（他大学の学生さんが出会いお互いの活動共有を図る、互いのスキルを活かして学びの場づくり、地元農家さんとの出会いから地元野菜の販売へつながったなど）</p>
	<p>■ <b>チャリティイベント他の広報活動で、情報発信とカンパ集めに効果が高かった。</b></p> <p>「小さき声のカノン」上映会には市内外から100名を超える参加者が集まり、「福島の現状を初めて知った、なんとかしたい」という感想も多かった。また2月のチャリティライブでは、避難してきたお母さんのお話に厳しい現実に向き合いつつ、「地域を超えて一緒に子育てしていくことが大事、継続的に様々な面で交流をしていこう」との話がでるなど、まだまだ続く被災地への関心をひろげていくことができた。</p> <p>また、市内の様々なイベントに参加して広報をしたことやてづくりジャムの販売など、顔の見える広報の成果もあり、あらたなボランティアの参加が増え、昨年度より寄付金が2割程アップした。</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 5月と11月の2回、チャリティイベントを予定していたが、春合宿～夏合宿の間はゆとりがなく10月と2月の開催とした。バス代が予算より10万程安くなったので、その分当初予算より少なくてよかった。
	その他、評価すべき点等	合宿自体はこれまでと同じスタイルであったが、交流することや八王子の良さを感じてもらえるなどプログラムの内容を工夫できた。またこれまで手が回らなかった広報活動をにチャレンジできたこと、人的資金的成果もでたことで、継続性への見通しがもてたことが、今年度の大きな成果である。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>これまで同様に2回の合宿開催をベースに、チャリティや講演会も企画し、人的資金的な交流活動の継続基盤を作っていく。同時に参加した福島のお母さん達と八王子市民の緩やかなネットワークを活かし、これまでの受け入れ的な関係性から、お母さん達のスキルを活かした手づくり市や料理づくり、福島から八王子市に避難されている方との交流など合宿以外で互いに訪問し交流できる機会を設け、長期にわたって交流していける基盤をつくっていきたい。</p>
---------	--

## 平成 27 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	(講座)『里山エネルギー研究会』と木質ペレットの製造		
団体名	一般社団法人八王子協同エネルギー		
事業費	2,015,100円	補助金額	970,000円

事業の目的・内容	目的： 里山のバイオマス資源の活用を推進するために、保全団体や福祉作業所、木工作业所等と連携し、燃料製造の研究を行う。また、市民に対してはイベントやデモンストレーションを通じた燃焼器の普及を目指し、木質バイオマス活用の全国的な先進事例を研究して紹介する。八王子地域での導入を推進し、実現するため学習会を行う。本事業を継続して行うため、ノウハウの蓄積と事業化の検討を行う。
	内容： ①里山保全活動との交流 ②木材加工技術、製品開発を通じた木質資源活用の研究 ③木質エネルギー活用研究 ロケットストーブ(剪定枝が効率よく燃やせる廃材利用の野外コンロ)やブリケット(おがくずや古紙を圧縮した燃料)製造機の開発 ④里山の剪定枝やおがくずを活用したペレット製造 ⑤バイオマスエネルギーに関する講座やワークショップの開催とイベントでのPR

事業の活動実績	<p><b>I. 視察・交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外への里山保全活動への参加</li> <li>4月 長池里山クラブ / 5月 高尾お日の森くらぶ(ロープワーク)</li> <li>9月 赤目の森を育てる会、青年里山フォーラム(萌芽更新、草木染め、キノコ栽培、全国の青年との交流)</li> <li>10月～3月 FoEJapan 宇津木の森(薪割り、草刈など) / 11月 藤野森部(水脈づくり)</li> <li>・ペレット燃料の製造と利用</li> <li>6月 日の出町 福祉作業所のペレット製造工場見学 / 7月 静岡市 ペレットの農業利用事例見学</li> <li>9月 赤目の森を育てる会 小型ペレット製造機、ペレット製造工程見学</li> </ul>
	<p><b>II. 木質資源の活用についての研究、製品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材加工</li> <li>4月～3月 家具工房、製材所で木材加工研修(上野原市、相模原市)</li> <li>9月～12月 里山椅子・間伐材コンポストの開発 10月 焼杉の体験(藤野町)</li> <li>11月 竹和紙製造の体験(元八王子) 2月 木工旋盤の選定(浜松木工旋盤同好会、市内工房見学と制作研修) 2月～3月 木工旋盤を使った商品の開発</li> <li>・木質エネルギー活用</li> <li>5月～8月 ロケットストーブ、ブリケット製造機の開発・ペレット原料の調達先調査</li> <li>12月 ペレット製造実験(材料調達、チップ加工、ペレット製造、燃焼実験)</li> <li>12月～3月 チップ製造と乾燥、ペレット製造</li> </ul> <p><b>III. イベント・講座・ワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5/23 バイオマス先進事例紹介(参加者40名、アミダステーション)</li> <li>7/12 里山シンポジウム 市民主導の「ご当地エネルギー」で地域の自治を取り戻そう!(参加者65名、労政会館)</li> <li>7/25 ロケットストーブWS(製作5名、見学15名、東浅川の公園内)</li> <li>7/26 牧場でのロケットストーブデモンストレーション(参加者30名、磯沼ミルクファーム)</li> <li>11/3 ロケットストーブWS(堀之内、製作5名、見学20名)</li> <li>12月～3月 ペレット製造見学会、視察受入(堀之内、のべ200名)</li> <li>3/19 市民発電所お披露目イベント(小比企町、参加者70名)</li> <li>3/21 ぽかぽか足湯体験会(参加者15名)、里山エネルギー報告会(参加者50名、労政会館)</li> </ul> <p><b>【出店】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5/24 国際交流イベントみんなちがってみんないい(元本郷町)</li> <li>9/2 牧場マルシェ</li> <li>9/23 多摩&amp;八王子自然エネ交流会(参加者各200名)</li> <li>11/3 牧場だらだらまつり(堀之内、参加者100名)</li> <li>11/1 ユギムラ体験農園収穫祭(堀之内) 9月 地域通貨てんぐ市(元八王子)</li> <li>12月 草木染めワークショップ(高尾) 1月 牧場マルシェ・ユギムラ祭り(堀之内)</li> </ul> <p><b>【ツアー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 小川町バイオマス学習ツアー参加者15名</li> <li>12月 青梅エコツアー(ペレットストーブ代理店、里山での小水力発電時実験設備)参加者13名</li> <li>3月 三重&amp;長野バイオマス学習ツアー 里山保全活動(三重県名張)、ペレットストーブ輸入業者(三重県松阪)、ペレット製造工場(長野県飯田市)参加者7名</li> </ul>

様式9 (2枚目)



事業の成果・効果	<p>○市内の多様な里山保全団体と交流し、活動の現状について把握することができた。</p> <p>3月の里山エネルギー研究報告会においては、里山保全の課題やエネルギー資源としての活用について意見交換を行い、連携の可能性を見出すことができた。一方で、このままでは薪や炭、チップの利用は限定的であることから、今後も里山団体の交流や意見交換の機会を定期的に開催する必要性について共有化できた。現在、課題解決を目指すためのネットワーク化を準備している。</p> <p>○ペレット製造機を堀之内の牧場に置いたことで、延べ200人以上の市民に参加していただき製造過程を見てもらうことができた。また、農作業に来ている福祉作業所の利用者や職員、近隣の農家の方々にも見てもらうことができた。ペレット製造のための過程(剪定、チップ化、乾燥、ペレット化、燃料利用)を体験するレジャー型のペレット製造体験により燃料やストーブの認知を広げるだけでなく、里山活動や地域の営みについてもPRできたと考えられる。</p> <p>○ペレット製造機、ならびにペレットストーブの導入について、この間に十数件の相談を受けた。製造機は、導入を検討している団体が1件、すでに導入した事業所が1件。ストーブについては、個人宅への導入がすでに2件実現している。その後も、継続的な相談に応じている。</p> <p>○バイオマス利用における先進地域への視察は、多くの地域住民や学生の主体的な参加のもとで実施することができた。したがって、内容は一般的な知識の習得にとどまらない課題解決のための行動につながる具体的なノウハウを得ることができた。例として、三重県赤目の森を守る会では、里山でのワークキャンパーの受入や就労支援事業所の運営、キノコ栽培方法と販売について、植樹・果樹栽培、和菓子製造など、事務作業から、運営理念まで、実務的な研修を受けることができた。その他についても、それぞれの参加者が八王子に持ち帰り実践を目指す波及効果の高い研修を行うことが概ねできたと考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ②多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の助成金を重複して申請することが困難であったために、その分を物品販売、体験事業等の収益部門を増やすことで賄った。</li> <li>・前項に伴い、ロケットストーブやブリケットの開発、製造、販売、調理イベントなどを行った。</li> <li>・故障のため、ペレタイザーレンタル開始が遅れた。</li> <li>・国内・外問わず、近年、メーカーの廃業、合併等が頻発しているため、木工旋盤の機材選定に慎重な検討を要してしまい、導入が遅れた。</li> <li>・チップシャーシレッダーは、購入する以外に借用することで使用する(長池公園/FOEJapan)が見つかなかったため、購入を見合わせた。長池公園で管理されているチップパーについては、2月からメンテナンスのため使用できず、FoEJapanの管理するチップパー(宇津木)を使用することとなったが、こちらのチップパーについてもオイルポンプの不調のため、修理期間を要した分、予定よりも遅れることになった。</li> <li>・講座の内容、視察先を一部変更し、ペレット製造やストーブ・ボイラーの普及事業に特化した講座、視察交流を実施した。</li> <li>・ペレットストーブの導入支援については、ノウハウの蓄積と資料整理にとどまっておらず、情報提供による導入支援を行うこと自体に支障があるわけではないが、予定していた独自のパンフレットについては作成できていない。</li> </ul>
	その他、評価すべき点等	様々なイベントやワークショップ、交流プログラムにより、八王子協同エネルギーの活動や目的について、幅広い市民に知っていただくことができ、活動のネットワークも拡大した。豊かな地域資源を活用した新しい仕事づくりの可能性について、地域住民や学生たちと一緒に考えてきたことで、一定の目標を共有することができた。

今後の事業展開	<p>次年度以降さらに発展させるとともに、とくに里山資源の活用については、新規に、自ら特定エリア内の継続的な伐採保全活動を開始する。また、里山間伐(除伐)材利用製品の開発、ワークショップによる経済的な基盤の確保を目指したいと考えている。</p> <p>ペレットストーブや薪などの木質燃料燃焼器の普及には、これまでに実施してきた「顔の見える燃料づくり」の他、当法人の活動拠点である体験型の牧場(ユギムラ牧場や磯沼ミルクファーム)において、試験的な導入を行うことで、誰もが気軽に見学できるショールームとして機能させることができると考えている。またハウス栽培等の農業用の利用も推進することで、栽培作物の付加価値を高め、総合的な資源循環モデルとしてPRしたい。</p> <p>【普及啓発】牧場や福祉作業所と連携してペレットストーブやボイラーの試験的な導入を行う。</p> <p>【事業化の可能性】ペレットストーブ、ボイラーの代理販売や施工においては、リンカルジャパン(三重県松阪市)との提携を検討中。ペレット製造については青梅市の鉄工所と連携しダイス部品の開発・改良を行い、より導入しやすい小型ペレタイザーを提案したいと考えている。その他、防災用ロケットストーブの製造、普及・講習活動。国内でもいくつか実践されている福祉作業所との共同によるペレット製造の開始や、体験農園等への燃焼器ボイラーの導入・高付加価値作物の生産を行うことができると考えている。</p>
---------	---



平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域多世代交流広場お茶の間「民」事業		
団体名	特定非営利活動法人地域医療・福祉の明日を考える会		
事業費	981,874円	補助金額	317,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>一人住まいの高齢者や高齢者のみ家族、孤立した子育てをしている家族、諸問題を抱える住民が多い地域である。様々な支援の手が必要とされている。 当法人の人材資源、ネットワークを利用して、地域医療・福祉の支援を行うことを目的としてこの事業を企画した。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子市館ヶ丘地域の住人を対象として、館ヶ丘クリニック施設の休館日を利用して多世代(0歳～100歳以上)の交流広場を週2回(木曜日・日曜日)開設し、地域コミュニティづくりを行うとともに、認知症等の予防・早期発見や子育て不安の相談など、地域医療・福祉に関する事業を行う。</p>

事業の活動実績	・広場を日曜日・木曜日に99日開催 延べ参加人数 3156人 (会場：館ヶ丘クリニック)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	木曜	4	4	3	5	4	4	5	4	4	3	4	5	49
	日曜	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	50
	参加	289	257	226	265	286	225	264	270	300	213	276	285	3156
<p>・月2回の専門者(ケアマネジャー・医療ソーシャルワーカー)の相談会を開催。                  ◎介護保険制度の説明および活用方法を個人別に行いました。                  ◎医療・福祉の相談を個人別に行い、(開催日だけではなく、専門電話にも相談あり)ほとんどのケースが継続的に相談を受けています。介護保険変更の説明も行いました。                  ・特に楽しかったイベント                  ・大地沢青少年センターの炊飯場を借り、まきでご飯を炊き、豚汁作りをしました。                  ・ピアノを運び込み、プロの方のピアノ伴奏で歌いました。                  ・年忘れのうどんを大晦日の日に食べました。                  ・日常的に利用者が作った雑巾・編み物・袋物・(くす玉・紙ごみ箱・お手玉など)はお誕生会のプレゼントや医療機関・被災地へ寄付を行い、皆の励みになりました。                  ・医療機関との連携で病院見学や高齢者生活のしづらさ調査を行いました。</p>														



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民のコミュニティづくりの推進 お茶の間「民」に参加することにより、地域の方々と交流することができた。特に引越してきて間のない人にとっては住民としてのデビューの場となっています。</li> <li>・地域貢献を行う人材の育成（地域人材資源活用） 広場のスタッフは地域住民です。また、昼食時のおかずも地域の方々の手作りで好評。日常的に行っている雑巾作りや編み物といった成果物を寄付するなど社会参画の場を提供し、参加者の社会貢献への意識を向上させることができました。（編み物、紙芝居や折り紙といった得意を活かして、はつらつ元気です。） ◎参加者自らが積極的にお茶の間「民」の活動に参加し、手伝いが増えた。</li> <li>・様々な医療や福祉に関する個人の問題発見し、機関へ繋ぐとともに、寄り添い、支援 地域包括支援センター高尾・地域包括支援センター寺田や地域子ども家庭支援センターといった公共機関との連携を図り、共に情報を共有することで、よりきめ細やかな支援を行うことができました。（医療センターの医療相談室やその他医療機関とも連携）</li> <li>・館ヶ丘団地以外の方も包括センターの紹介で参加され、地域的な広がりもありました。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	法政大学との連携で調査研究が進んでいます。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館ヶ丘クリニックの使用が可能な限り、お茶の間「民」としての活動を継続していきます。</li> <li>・地域の方々の居場所として、より一層地域の方々の活躍できる場として取り組みを展開します。（ひとり一人が生きがいとなるような役割を見つけることができるよう、無理せず、働きかけます）</li> <li>・認知症予防プログラムを積極的に取り入れ、地域の課題に取り組みます。</li> </ul>
---------	---

## 平成27年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会および市内施設でのセミナー開催		
団体名	八王子猫のおうち探しの会		
事業費	766,425 円	補助金額	208,000 円

事業の目的・内容	目的 26年度に引き続き、27年度も屋内型譲渡会場での相談会と譲渡会の開催に加え「地域猫セミナー」を開催する。 これにより、殺処分や外で暮らす猫によるトラブルを削減し「人と動物が共存できる街づくり」を目的とする
	内容 屋内型の常設会場で、主に八王子市内で保護した猫の新しい飼い主探しを効果的に実施する 市民からの猫保護の相談対応と飼い主探しの場を提供し、外で暮らす飼い主のいない猫の地域猫化やトラブルの相談対応をおこなう さらに、有識者や八王子市保健所の職員による講演で「第2回地域猫セミナー」を開催し、広く市民に活動を広報し参加してもらう

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～3月末 譲渡会開催：計159回（26年度113回） 八王子古本まつり 犬猫里親相談所 開設2回 市民からの相談対応 仔猫の保護に加え、飼い主の入院や飼育放棄による成猫の引き取りの増加 月刊「はちねこ！かわら版」作成：市内66施設に配布 八王子市保健所主催による動物愛護推進協議会の参加 保護団体によるボランティアミーティングの参加</li> <li>・3月 「地域猫セミナー」の開催（於学園都市センター） 講師：台東区台東保健所高松氏、八王子市保健所伊東氏</li> </ul>
	NPO パワーアップ講座の参加、お父さんお帰りなさいパーティー参加や会員の家庭動物管理士の取得（4名）により事業計画を遂行する上で実績をあげるための一助となった



事業の成果・効果	<p>・譲渡・相談事業の成果</p> <p>土日祝祭日に加え、27年度から平日の水曜日に開催したところ、予想以上の来場があり保護相談や譲渡件数の増加につながった</p> <p>開催日：159日、来場者数：2356人（26年度1597人）、参加頭数（延べ）1742頭 保護頭数：260頭、譲渡頭数：258頭（26年度200頭）</p> <p>昨年度までは、市外からの譲渡希望が多かったが、今年度はほぼ市内での譲渡となった 以前は保護猫を譲受しようとする場合、都内や市外の団体から譲渡を受けていた市民が多かったようだが、市民が当会の存在を知って八王子市で保護された猫を八王子市内で譲渡することができた</p> <p>今回の地域猫セミナーは長年地域猫活動に携わり現役の職員による講演で、今後の活動や市民の方にも判りやすい内容で好評だった</p> <p>八王子市保健所の「飼い主のいない猫」に対する不妊手術助成金の支給で、市民による手術が進み、住民の意識の高い地域では外で暮らす猫の頭数が減ってきている。ただ、高齢者では捕獲や動物病院の搬送が難しく、当会で協力することにより多頭現場でも速やかな不妊手術を実施することができた</p> <p>市民活動としての認知度が上がり、多様な能力を持つ会員が増え、会の活動体制がレベルアップした</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 相談者自ら保護・譲渡に参加する事例が増え、貸出器具が予想以上に増えた。そのため、主に通信費を手渡し等で削減し予算の一部を猫用の備品購入に変更した
	その他、評価すべき点等	八王子市保健所と連携してトラブル事例を対応することによって、市民の信頼度も上がり、トラブル解消に対する協力が得やすくなった。パワーアップ講座に参加することにより、運営の方法や事業展開の手法を学ぶことができ、また、会員のモチベーションの向上に役立った

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子市保健所と協働で、トラブル解消のために敷居の低い勉強会を定期的で開催する（第1回目6月21日・学園都市センターセミナー室）</p> <p>動物愛護推進協議会や八王子市保健所での他団体との連絡会で連帯を強化する</p> <p>古書店の協力により「めぐり本」プロジェクトや、市内大学生との商品開発による資金調達と広報活動を行う</p>
---------	---

## 5 成果報告会 アンケート結果

### アンケートの概要

実施日	平成28年6月25日（土）成果報告会にて
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	10名

### (1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 2015 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	
団体名	八王子ハッピー太陽ロード実行委員会	掲載ページ P5

- ・ 他の団体（例えば、はちもんやMOA）などと、連携した取り組みがあれば、さらによいのでは。（40代）
- ・ 身近な所で作品を見かけます。心を楽しくしてくれる絵ですね。思わずにっこりしてしまいます。（60代）
- ・ 発表が棒読みで、わかりづらかった。重要箇所をポインターなどで指し示して欲しかった。活動は、幅広くなされたと思います。御苦労様でした。（70代）

事業名	八王子ものづくりコンテスト(通称:はちもん)	
団体名	はちもん実行委員会	掲載ページ P7

- ・ 八王子市のもの作りの歴史と、もの作り進展に取り組まれており、続けて欲しい。（70代）
- ・ (コンテストに) 参加しました。とても素敵な作品でした(セシオ)。是非、続けてほしいと思います。（60代）

事業名	《さんさん》から健康と笑顔を発信	
団体名	特定非営利活動法人南陽台地域福祉センター	掲載ページ P9

- ・ 高齢者の多い八王子市の活性化の為の活動であり、今後も頑張っていたきたいと思います。（70代）
- ・ ノルディックウォーキングの講座を、市や町会から受託できるようになるとよいですね。（年代不詳）
- ・ 地域に根ざした取組みで良いと思います。（40代）
- ・ 地域のお年寄りが、一緒に体を動かすのでとても良い活動だと思います。（30代）

事業名	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	
団体名	シュタイナー・おひさまひろば	掲載ページ P11

- ・ 内輪の集まりとなっていないか気になった。（40代）

事業名	MOA美術館八王子児童作品展	
団体名	MOA美術館八王子児童作品展実行委員会	掲載ページ P13

- ・ 活動のさらなる広がり期待します。(40代)
- ・ 思いもかけない所に子どもの絵があるのは、とても良いものです。(60代)
- ・ 子どもの絵と、街中のお店でのコラボレーションがとても良いと思います。(30代)

事業名	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	
団体名	学園都市大学古文書研究会	掲載ページ P15

- ・ 市民企画事業のテーマが学園都市としての特性を踏まえたものであり、興味があります。古文書関連の検索システムを完成して欲しい。(70代)
- ・ ホームページは、コンスタントに更新が必要です。立ち上げただけにならないよう今後に期待します。(年代不詳)
- ・ ホームページを作って終わりとならないように、魅力あるサイトとなるよう充実を期待します。(40代)
- ・ HPの立ち上げは、もっと低予算でできると思います。しかし、古文書の解読などは、貴重な活動だと思います。(30代)

事業名	みなみ野サマーブリーズコンサート	
団体名	みなみ野サマーブリーズコンサート実行委員会	掲載ページ P17

- ・ 地域の活性化の一助になると思います。(70代)
- ・ 音楽があふれる八王子になればと期待します。(60代)
- ・ とても楽しそうなイベントだと思いますが、全く知らなかったので少し残念です。みなみ野地域以外にも広報してください。(30代)

事業名	～いつもの教室がステージに～ アウトリーチコンサート	
団体名	特定非営利活動法人チェロ・コンサートコミュニティ	掲載ページ P19

- ・ 本物の音楽を子供達に届けることは大変有意義であると思います。(70代)
- ・ 今年開催して、全小学校を6年間で回って、八王子市内の小学生は卒業するまでに一度は体験できると良いなと思います。(30代)

事業名	地域から考える持続可能な食と農 作って、食べて、語り合うコミュニティ・キッチン in 八王子	
団体名	八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」	掲載ページ P21

- ・ 子ども食堂と連携してみてもどうか。(年代不詳)
- ・ 地域の課題を解決していると言えるのか。(40代)

事業名	お外へぼん！未就学児親子の遊びと体験	
団体名	特定非営利活動法人八王子子ども劇場	掲載ページ P23

- ・ 記載なし

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ	掲載ページ P25

- ・ とても良い試みだと思います。(50代)

事業名	2015 春やすみ夏やすみ ふくはち交流合宿	
団体名	福島子ども支援・八王子	掲載ページ P27

- ・ 合宿地が市内ではないのが残念。(年代不詳)
- ・ 子どもたちへの支援も必要だと思うが、大人にとっても貴重な活動であり、八王子市民にとっても現況を知ることができて有意義な活動だと思う。長く続けていけると良いですね。(50代)
- ・ 福島の子どもたちへの支援が現在も必要なのか良くわからない。(40代)

事業名	(講座)「里山エネルギー研究会」と木質ペレットの製造	
団体名	一般社団法人八王子協同エネルギー	掲載ページ P29

- ・ 地域の住民が、産業によるつながりを作っていくことは、素晴らしいと思う。(50代)
- ・ ペレットストーブの導入が2件だけは、寂しすぎる。補助金額に見合った効果はあったのか(あるのか)。(年代不詳)
- ・ 何がしたかったのか、良くわからない。事業の効果が見えない。(40代)

事業名	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	
団体名	特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会	掲載ページ P31

- ・ 大変幅広い地域活動に、ご苦労があったと思います。予算の約30%が補助金ですが、残りの資金はどのような方法で、集められたのでしょうか？(70代)
- ・ 他の地域でも参考となる活動であるので、活動を広めるという視点があると、なお良いと思います。(40代)
- ・ 活動を通して、お年寄りが生き生きとされているのが良くわかりました。(30代)

事業名	屋内談話会での猫談話と相談会および市内施設でのセミナー開催	
団体名	八王子猫のおうち探しの会	掲載ページ P33

- ・ 活動の成果がすばらしい。継続していく方策に期待したい。(40代)

## (2) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

### 【公益な市民活動に対する市からの補助は必要だと思いますか】

- ・ 必要である（8名） ・ 必要ない（0名） ・ わからない（0名）

### 【公益的な市民活動に対する市からの支援についてどのような支援があると良いと思いますか】

(複数回答可の設問)

1.	補助金による支援	○ → 5名
2.	活動の場の提供	○ → 5名
3.	施設使用料等の減免措置	○ → 4名
4.	活動の情報発信面での支援	○ → 6名
5.	団体間の交流の場・機会の提供	○ → 3名
6.	機材や資材の提供	○ → 5名
7.	講師・スタッフ等人材の派遣	○ → 3名
8.	人材育成	○ → 1名
9.	団体・人材の斡旋	なし
10.	その他	なし

### 【補助金制度についてのご意見】

- ・ 団体自らの活動資金集めも必要だが、市からの支援も必要である。市が資金援助することで名実ともに活動に弾みがつく。(40代)
- ・ 事業費 1/2 の補助金（事業実施部門）では、なかなか申請する団体が増えないと思います。せめて2/3に。(60代)
- ・ 市民の認知度がまだ高くないように思うので、PRしていただければ、参加する市民も多くなり、市が活性化すると思います。(50代)

## (3) 成果報告会についてのご意見・ご感想

- ・ こういった会が実施されることを、もっとアピールする必要があると思います。(60代)
- ・ 第二部から発表を聞かせていただきました。どの団体の発表も内容のあるもので、改めて市民力の素晴らしさを感じました。残念なことにほとんどが発表団体の方の参加のようで、もっともっと一般の人が聞けるようなPRが必要と思います。(60代)
- ・ 発表の持ち時間が過ぎたら、すぐに発表を止めるように！(60代)
- ・ 事業が継続されることを期待します。せっかくの発表会に、聴講者が少なく残念。成果が多くの人に知られると良いと思いました。(70代)
- ・ 素晴らしい活動をしている方が、たくさんいることがわかりましたが、今まで全く知らない団体も多く残念でした。もっと広く広報してもらえると良いですね。(30代)



## 6 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	八王子ハッピー太陽ロード 実行委員会	小楠 安輝子	小楠 安輝子	八王子市絹ヶ丘2-36-13	042-635-1493
	はちもん実行委員会	小金沢 一実	小金沢 一実	八王子市東町1-14 橋完ビル 2F-A ハニカムステージ内	042-649-8296
	特定非営利活動法人 南陽台地域福祉センター	渡邊 秀樹	関口 安子	八王子市南陽台1-12-17	042-670-4347
	シュタイナー・おひさまひろば	五十嵐 美雪	角出 ちゆき	八王子市狭間町1770-28	042-657-6363
	MOA美術館 八王子児童作品展実行委員会	谷本 広幸	谷本 広幸	八王子市横川町985-32	042-621-3485
	学園都市大学古文書研究会	吉田 健一	長倉 勉	川崎市麻生区栗木台4-8-15	044-989-1896
事業実施部門	みなみ野サマーブリーズ コンサート実行委員会	糠信 富雄	宇野 政二	八王子市みなみ野4-27-14	042-635-9886
	特定非営利活動法人チェロ・ コンサートコミュニティー	市川 和博	木村 昂介	八王子市子安町3-23-15 (市川様宅)	070-6452-0624
	八王子市民のがっこう 「まなび・つなぐ広場」	花崎 晶	花崎 晶	八王子市東町3-4 アミダステーション気付	080-5081-9433
	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	浅野 里恵子	村上 ひろみ	八王子市子安町1-9-17	042-645-1739
	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	高倉 裕香	高倉 裕香	八王子市みつ台2-29-14	042-691-5045
	福島子ども支援・八王子	近藤 波美	近藤 波美	八王子市寺田町432 グリーンヒル寺田105-502	080-3307-0427
	一般社団法人 八王子協同エネルギー	田中 拓哉	田中 拓哉	八王子市北野町530-14 高橋マンション201	080-3774-8022
	特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会	大倉 民江	浅野 里恵子	八王子市子安町1-9-17	070-5566-5272
八王子猫のおうち探しの会	小林 結花	小林 結花	八王子市初沢町1298-5 はちねこ！カフェ	080-5496-8838	

平成27年度交付  
市民企画事業補助金  
成果報告書



平成28年7月発行

発行 / 八王子市  
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253  
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp  
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/index.html>

---

